

## 次号予告

### 特集 認識・感情・意思決定

シグナリングゲームについて .....	松村良平 (東京工業大学)
ハイパーゲーム分析 .....	高橋真吾 (千葉工業大学)
ソフトゲーム理論 .....	猪原健弘 (東京工業大学)
ドラマ理論への誘い .....	木嶋恭一 (東京工業大学)

●私の勤務する大学では少子化の影響を強く受けて受験生が減少する傾向が続いている。企業の方からは遅いと言われてしまうであろうが、ようやく顧客獲得が重要であると認識されて、中学生・高校生を対象とした科学実験教室や、受験生対象の説明会で講演する機会が増えてきている。話が終わった後、専門的な用語に関して「……とは何ですか」という質問を受けると、普通は四苦八苦して答えを作る。しかし、地理情報システム (GIS) 関連の質問であると、“カーナビ”と“ケータイ”の位置情報サービスを例に取って分かりやすく説明することができる。

●地理情報システムがこのように広く普及しているのは、私たちの日常生活が地表面に拘束されていて、その社会活動を扱うためには必須の技術であるという必然性と、コンピュータ、通信ネットワークと情報端末などの性能の飛躍的向上、およびデータとソフトウェアの整備に支えられているためであろう。

●本号はほぼ2年ぶりの地理情報システムに関する特集である。幅広い領域の中で空間情報データに力点を置き、政府機関においてこの分野の老舗である国土院の稲葉和雄氏にオーガナイザーをお願いした。稲葉氏には幅広い人脈を使って頂き、なかでも、John Moeller 氏にアメリカ合衆国政府の取り組み方を、過去から将来展望まで書いて頂いたのは大変ありがたかった。調整機関としての政府の役割、民間の力の活用、税金で作成したデータは無償で公開するという考え方など、興味深い内容が述べられていると思う。

●最初に述べたように、地理情報システムは広く使われている重要な技術であり、学問的にも数多くの研究課題をかかえている分野である。それに対応した量の研究発表、事例報告がなされると OR 誌はさらに活気付くことは間違いない、門は広く開かれていますので、数多くの投稿がなされることを期待しております (もちろん、他の分野も大歓迎です)。 (田口 東)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 田口 東(中央大学)

委員 大屋隆生(財電力中央研究所)、北澤英理子(東京ガス㈱)、栗田 治(慶応義塾大学)、繁野麻衣子(筑波大学)、清水康司(青山学院大学)、田村明久(京都大学)、中川慶一郎(㈱NTT データ)、難波和明(東京理科大学)、原 裕淳(㈱東芝)、平山克己(㈱住友金属システムソリューションズ)、松村良平(東京工業大学)、宮崎知明(富士通㈱)、山下英明(東北大学)、吉野秀明(日本電信電話㈱)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

# オペレーションズ・リサーチ

平成13年1月号 第46巻 第1号 通巻481号

代表者 長谷川利治

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 田口 東

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ